

令和8年度 第1回苫小牧市航空機騒音対策協議会

日時：令和8年5月29日（金）

午後6時30分

場所：JFEリサイクルプラザ苫小牧
2階 会議室

次 第

1 開 会

2 事務局・出席者紹介

3 会長挨拶

4 部長挨拶

5 議 題

（1）報告事項

ア F-35Aの航空自衛隊千歳基地への配備について 【資料 1】

イ F-35Aの航空自衛隊千歳基地への配備に関する要望について 【資料 2】

ウ 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について

①米軍再編に係る各基地の訓練移転経過について 【資料 3-1】

②令和8年度における米軍再編に係る航空機訓練移転について 【資料 3-2】

エ 航空機事故関連について

①令和7年度（下半期）航空機部品等落下について 【資料 4-1】

②千歳基地所属F-15Jの部品等落下について（4/16 通知） 【資料 4-2】

③千歳基地所属F-15Jの部品等落下について（4/20 通知） 【資料 4-3】

オ 北海道防衛局関係の助成事業実施状況について 【資料 5】

カ 令和7年度再編関連訓練移転等交付金事業結果について 【資料 6】

キ 令和7年度（下半期）新千歳空港における民航機の引き返し及び
目的地外着陸について 【資料 7】

ク 令和7年度航空機騒音測定結果について 【資料 8】

ケ 令和7年度空港融雪剤に係る水質測定結果について 【資料 9】

コ 調整池に係る工事の進捗状況について 【資料 10】

サ 調整池水門マニュアルの変更等について 【資料 11】

（2）協議事項

ア 令和8年度要望活動（案）について 【資料 12】

6 その他

F-35Aの航空自衛隊千歳基地への配備について



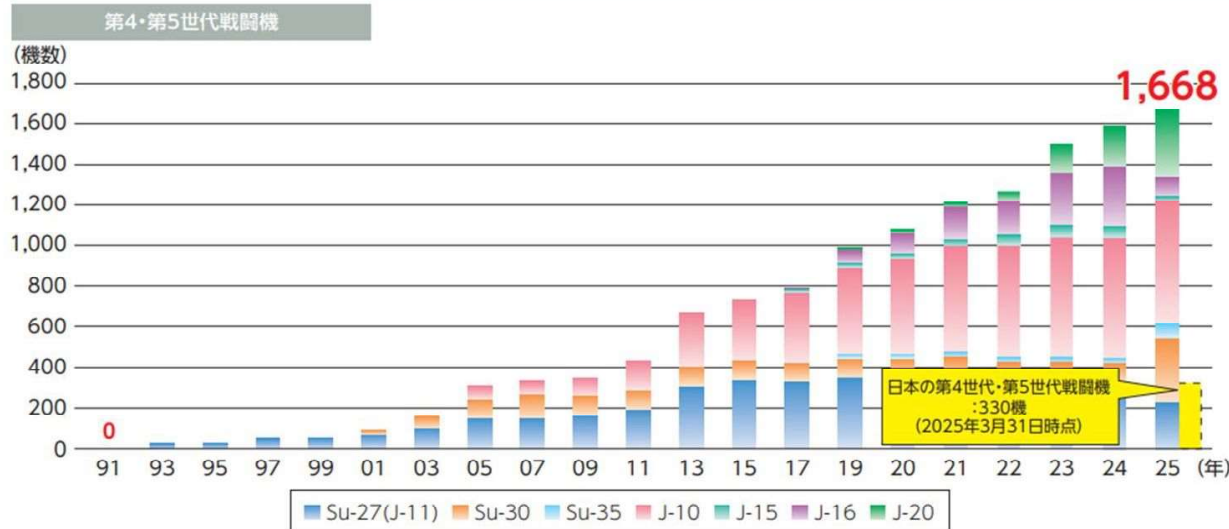
**令和 8 年 5 月
防 衛 省**

我が国を取り巻く安全保障環境とF-35Aの必要性

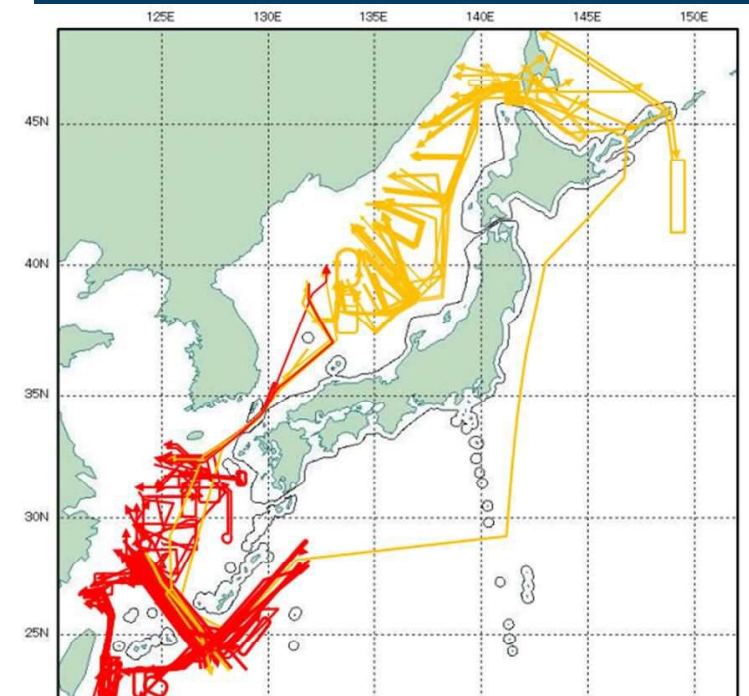
- 我が国周辺国は、ステルス性を有するとされる戦闘機を含む新型機の導入や既存機種種の改修を進め、**その航空戦力を急速に近代化**しています。
- さらに、近年、周辺国軍用機による領空侵犯が相次いでいるほか、爆撃機が長距離にわたり共同飛行するなど、**航空戦力の活動も活発化傾向**にあります。
- 防衛省・自衛隊としては、我が国の航空戦力の質・量を更に洗練・強化するため、高いネットワーク性能やステルス性能等を有する**F-35A戦闘機を着実に導入し、我が国の防衛に万全を期す**考えです。

中国の主な航空戦力 (令和7年防衛白書)

図表 I -3-2-8 中国の主な航空戦力



令和6(2024)年度に緊急発進の対象となった 中露機の飛行パターン例



→ : 中国機の経路 → : ロシア機の経路 1

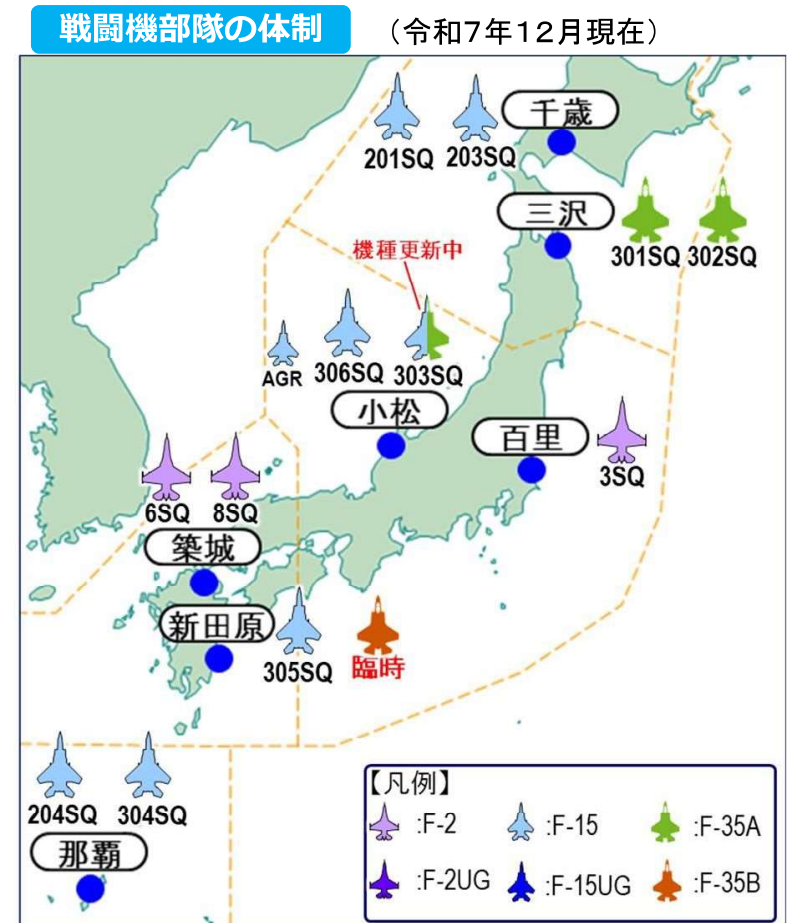
F-35Aの取得と千歳基地への配備

- F-35Aについては、平成24年度から取得を開始し、合計147機取得する計画であり、現行の防衛力整備計画（令和5年度～9年度）では、**計40機取得**する予定です。
- 配備先については、三沢基地と小松基地に2個飛行隊分ずつ、計4個飛行隊の配備を予定してきているところ、**5個目の飛行隊を千歳基地に配備したいと考えています。**

<千歳基地を配備先とした理由>

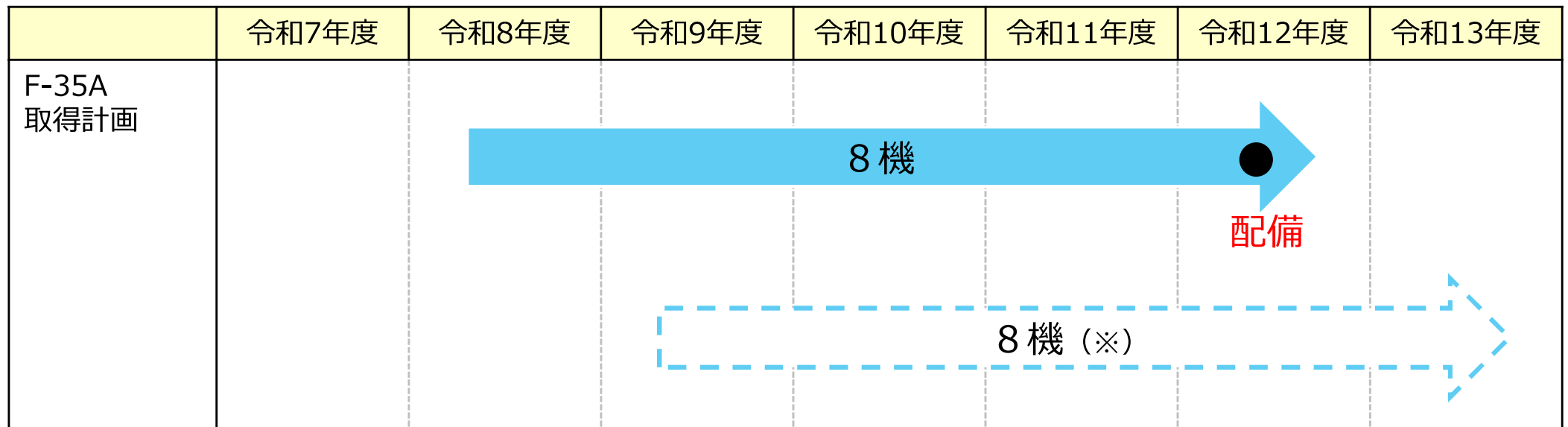
- 運用に必要な基盤がある、**戦闘機部隊が配備されている航空自衛隊の基地**であって、
 - ・ 配備に必要な地積が確保できるか
 - ・ 既に配備されている機種との効率的な置き換えが可能か
 - ・ 訓練環境（空域の広さ、他のF-35A部隊との連携）は十分に確保できるかなどを考慮し、総合的に検討

⇒ **千歳基地は、F-35Aの配備先として最適と判断**



F-35A配備のスケジュール

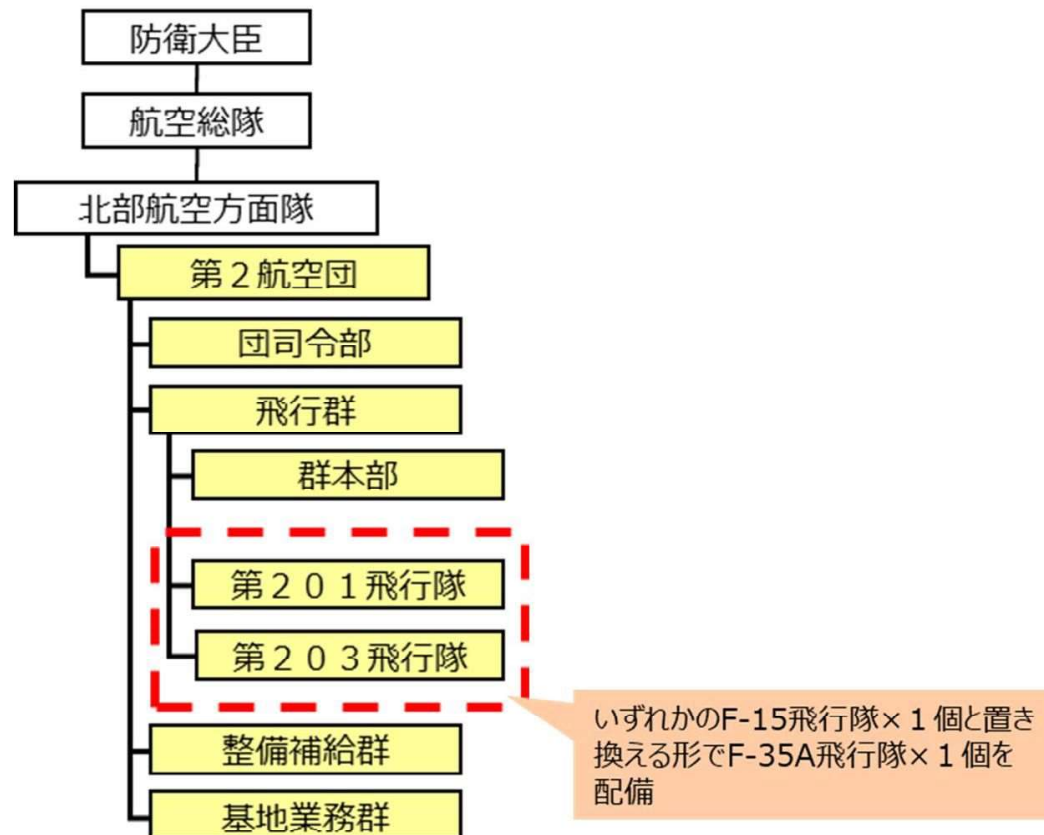
- F-35Aについては、令和7年度予算までに取得経費を計上したものは、三沢基地と小松基地に配備する計画であり、令和8年度予算に計上した8機から千歳基地に配備することを考えており、令和12年度から配備を開始する予定です。
 - F-35Aは、既存のF-15・1個飛行隊分（約20機）と置き換える形で、最終的に約20機を配備します。そのため、千歳基地に所在する戦闘機の機数が大きく変化することはありません。
 - なお、配備にあたって受入施設の整備を計画しており、今年度には調査・設計に着手する予定です。



※ 防衛力整備計画（令和5年度～令和9年度）においてF-35Aを40機取得予定。令和7年度予算までに24機取得しており、令和8年度及び9年度に残り16機を取得予定。

F-35Aの配備に伴う体制（部隊・人員）

- 現在、千歳基地にはF-15の飛行隊を2個配備しています。今後、F-35Aの飛行隊×1個は、いずれかのF-15の飛行隊×1個と置き換えて配備する計画であることから、**飛行隊の数は変動しません。**
- そのため、現時点において、**配備に伴う千歳基地の定員数について、大きな変化はないものと見積もっていますが、今後、一定程度の変動が生じる場合は、地元の皆様に対し、適切にお示しをしたい**と考えています。



F-35Aの安全性及び騒音

安全性

- F-35については、米国政府において、飛行の安全や任務遂行に重大な影響を与えうる事項として区分された課題（※1）があり、我が国としても、米国防省から、我が国が導入するF-35Aに関連した課題のリストを得た上で（※2）、**現時点において、飛行の安全や任務の遂行に重大な影響を与える課題は存在しないことを確認**しています。
- **米国防省はF-35に関する課題を分類して管理し、改善のための取組を継続して実施しています。**また、過去に発生した墜落事故についても、米側による事故調査の結果を踏まえ、**必要な対策が講じられています。**
- 安全性の確保は大前提であり、引き続き、教育や訓練を徹底し、飛行の安全の確保に万全を期してまいります。

（※1） F-35の技術的課題の区分について

カテゴリー I A : 飛行の安全に重大な影響を与える課題 → F-35 A、Bに該当なし

カテゴリー I B : 任務の遂行に重大な影響を与える課題 → F-35 A、Bに該当なし

カテゴリー II : カテゴリー I より軽微であるものの、任務の遂行に影響を与える課題

（※2） カテゴリー I に区分される課題が生じる度に、更新された課題のリストの共有を米国から受けており、直近でリストの共有を受けたのは令和5年6月。

騒音

- 米国政府の資料によれば、**地上においてエンジンを作動させた場合の騒音は、F-15Cと同程度**とされています。また、**離陸時の騒音値は、騒音源から1,000mの地点でF-15Eより約4dB程度高い**とされています。

F-35A の航空自衛隊千歳基地への配備に関する要望

千歳飛行場につきましては、航空自衛隊による通常訓練や政府専用機の訓練に加え、米軍再編に伴う訓練移転や他国との共同訓練などにより航空機騒音が増え、また、自衛隊機による部品落下事故も繰り返し発生しております。

千歳飛行場は、航空自衛隊の基幹飛行場として重要性が高まっておりますが、飛行場周辺住民は、航空機騒音に悩まされるとともに、戦闘機事故に対する不安を抱えながら生活している状況にあります。

国におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところですが、F-35A の航空自衛隊千歳基地への配備につきまして、別紙のとおり要望いたしますので、貴職の特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和 8 年 2 月 2 0 日

苫小牧市長 金 澤 俊

苫小牧市航空機騒音対策協議会
会 長 松 重 茂 雄

- (1) 隊員の安全教育等の徹底や整備点検等の適切な実施など安全管理に万全を期すこと。
- (2) 万一、事故が発生した場合は、速やかに報告するとともに、原因究明、再発防止策を開示すること。
- (3) 飛行場周辺住民の良好な生活環境を確保するため、F-35A の運用面での騒音対策を具体的に示した上で確実に実施すること。
- (4) F-35A の運用にあたっては、従来通り、市街地上空での低空飛行を避け、通常訓練の離着陸コースを遵守するとともに、運航自粛時間における飛行の抑制を徹底し、土日祝日の飛行を避けること。
- (5) F-35A の配備にあたっては、騒音の状況把握に努めるとともに、騒音調査を実施する際は、早期の情報提供や調査の実施方法等について、飛行場周辺住民と協議すること。
- (6) 騒音区域の見直しを実施する際は、飛行場周辺住民の騒音による生活環境への影響を踏まえ慎重に検討し、国の責任において、十分な周知・説明を行うなど丁寧な対応に努めるとともに、区域から外れる現告示後住宅があった場合は、救済措置を実施すること。
- (7) 騒音区域の見直しを実施する際は、前回の告示から40年以上が経過していることも考慮し、特に騒音の影響が大きい区域においては、告示後住宅の住宅防音工事の先行実施をすること。
- (8) F-35A の配備にあたっては、騒音等の負担による飛行場周辺住民の生活環境に及ぼす影響を十分考慮し、特定防衛施設周辺整備調整交付金を含め必要な地域振興対策を講じること。

◆ 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過（過去3年度分） ◆

年度	基地名	訓練期間	参加規模（米軍）	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考
5 年 度	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					R5. 3. 8通知
	アラスカ	R5. 8. 8（火）～ 9. 8（金）	F-35B×13機 KC-130J×2機 約270人	アラスカ	岩国	無	米軍の運用上の都合により中止
	千歳	R5. 9. 26（火）～ 10. 4（水）	F-16×12機 E-3G×1機 約220人	II	三沢	1基地派遣	
	築城	R5. 12. 5（火）～ 12. 15（金）	F-35A×12機 約200人	II	嘉手納	無	
	新田原	R5. 12. 8（金）～ 12. 20（水）	FA-18×10機 KC-130×1機 約300人	II	岩国	無	
	百里	R6. 1. 29（月）～ 2. 8（木）	F-16×12機 約160人	II	三沢	無	
	グアム	R6. 1. 25（木）～ 2. 23（金）	FA-18×12機 KC-130J×2機 約260人	グアム	岩国	無	
	グアム	R6. 2. 5（月）～ 2. 23（金）	F-15C×12機 KC-135×3機 C-130×3機 C-12×1機 E-3×2機 約520人	グアム	嘉手納	無	
	グアム	R6. 2. 5（月）～ 3. 1（金）	F-16×12機 約190人	グアム	三沢	無	
	グアム	R6. 3. 11（月）～ 3. 22（金）	FA-18×16機 E-2D×3機 約340人	グアム	岩国	無	
	グアム	R6. 3. 13（水）～ 3. 24（日）	FA-18×16機 約310人	グアム	岩国	無	
	計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:1回 百里:1回 新田原:1回 グアム:5回 アラスカ:0回 計:9回		I:0回 II:4回 グアム:5回 アラスカ:0回	三沢:3回 岩国:4回 嘉手納:2回	1基地派遣	
6 年 度	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					R6. 3. 22通知
	アラスカ	R6. 5. 13（月）～ 6. 14（金）	F-16×12機 約210人	アラスカ	三沢	無	
	グアム	R6. 5. 17（金）～ 6. 17（月）	F-35B×10機 約270人	グアム	岩国	無	
	グアム	R6. 5. 20（月）～ 6. 21（金）	FA-18C×6機、FA-18D×6機、 KC-130J×2機 約310人	グアム	岩国	無	
	グアム	R6. 6. 7（金）～ 6. 18（火）	F-22×10機 約160人（嘉手納）、 EA-18G×5機 約130人（三沢）	グアム	嘉手納 三沢	無	
	アラスカ	R6. 7. 31（水）～ 8. 30（金）	F-16×12機 約200人	アラスカ	三沢	無	
	新田原	R6. 10. 21（月）～ 11. 1（金）	F-35×6機、F-22×6機 約200人	II	①岩国 ②嘉手納	無	
	千歳	R6. 10. 21（月）～ 11. 1（金）	F-16×12機 約180人	II	三沢	1名派遣	
	小松	R6. 10. 28（月）～ 11. 1（金）	FA-18×6機 約80人	II	岩国	無	
	築城	R6. 10. 21（月）～ 11. 1（金）	F-16×10機 約180人	II	嘉手納	無	
	三沢	R6. 12. 2（月）～ 12. 13（金）	FA-18×10機 約220人	II	岩国	無	
	グアム	R7. 1. 20（月）～ 2. 24（月）	F-35B×10機、FA-18×10機、 KC-130×2機 約770人	グアム	岩国	無	
	グアム	R7. 1. 31（金）～ 2. 20（木）	F-35A×10機、EA-18×6機、 E-3G×2機、KC-135×1機 約600人	グアム	嘉手納	無	
	グアム	R7. 2. 3（月）～ 2. 26（水）	F-16×12機、C-130×1機 約230人	グアム	三沢	無	
	グアム	R7. 3. 11（火）～ 3. 28（金）	FA-18×16機、EA-18×5機 約450人	グアム	岩国	無	
	グアム	R7. 3. 14（金）～ 3. 30（日）	F-35C×10機、FA-18×8機、 E-2D×3機 約370人	グアム	岩国	無	
	計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:1回 百里:0回 新田原:1回 グアム:8回 アラスカ:2回 計:15回		I:0回 II:5回 グアム:8回 アラスカ:2回	三沢:5回 岩国:8回 嘉手納:4回	1基地派遣	

年度	基地名	訓練期間	参加規模（米軍）	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考
7 年度	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					R7.3.19通知
	グアム	R7.7.15（火）～8.7（木）	F-35A×12機、EA-18×5機 約400人	グアム	嘉手納	無	米軍飛行場における訓練活動の地元への影響軽減のため実施
	アラスカ	R7.7.17（木）～8.8（金）	F-35B×10機、KC-130×2機 約300人	アラスカ	岩国	無	米軍飛行場における訓練活動の地元への影響軽減のため実施
	グアム	R7.8.27（水）～9.1（月）	EA-18×2機 約40人	グアム	嘉手納	無	米軍飛行場における訓練活動の地元への影響軽減のため実施
	三沢	R7.9.25（木）～10.10（金）	F-35A×8機 約220人	II	嘉手納	無	二国間の相互運用性の向上と、米軍飛行場における訓練活動の影響軽減のため実施
	小松	R7.11.10（月）～11.19（水）	F-16×6機 約120人	II	三沢	無	二国間の相互運用性の向上と、米軍飛行場における訓練活動の影響軽減のため実施
	グアム	R8.1.28（水）～2.19（木）	F-35B×4機、FA-18×10機 KC-130×1機 約540人	グアム	岩国	無	米軍飛行場における訓練活動の地元への影響軽減のため実施
	新田原	R8.3.9（月）～3.19（木）	F-35A×10機 約170人	II	嘉手納	無	二国間の相互運用性の向上と、米軍飛行場における訓練活動の影響軽減のため実施
	グアム	R8.3.6（金）～3.26（木）	FA-18×16機、EA-18×6機 約230人	グアム	岩国	無	米軍飛行場における訓練活動の地元への影響軽減のため実施
	グアム	R8.3.10（火）～3.27（金）	FA-18×8機、EA-18×4機 F-35C×10機、E-2D×4機 約830人	グアム	岩国	無	米軍飛行場における訓練活動の地元への影響軽減のため実施
	計	千歳:0回 小松:1回 三沢:1回 築城:0回 百里:0回 新田原:1回 グアム:5回 アラスカ:1回 計:9回		I:0回 II:3回 グアム:5回 アラスカ:1回	三沢:1回 岩国:4回 嘉手納:4回		

(お知らせ)

令和8年1月23日
防 衛 省

米軍再編に係るグアム等への航空機訓練移転について

米軍再編に係るグアム等への航空機訓練移転（単独訓練）を、下記のとおり実施しますので、お知らせします。

今回で国外への訓練移転は、84回目となります。

国外への訓練移転は、米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響軽減のために実施されるものです。

岩国飛行場からグアム等への訓練移転

○訓練期間：令和8年1月28日（水）～2月19日（木）

○参加部隊：第12海兵航空群（岩国）

○参加規模：F-35B×4機程度、FA-18×10機程度、
KC-130×1機程度
人員540名程度

※訓練期間の前後に、訓練参加機及び人員・物資の輸送機の展開・撤収が行われる予定。

※本内容については、今後、変更される場合があります。

(お知らせ)

令和 8 年 2 月 5 日
防 衛 省

米軍再編に係る嘉手納飛行場から新田原基地への訓練移転について

米軍再編に係る嘉手納飛行場から新田原基地への訓練移転（日米共同訓練）を、下記のとおり実施しますので、お知らせします。

新田原基地での訓練移転は、今回で 14 回目となります。

国内への訓練移転は、平成 18 年 5 月の「再編の実施のための日米ロードマップ」に基づき、二国間の相互運用性の向上と米軍飛行場における訓練活動の影響の軽減のために行われるものです。

1. 訓練期間：令和 8 年 3 月 9 日（月）～ 3 月 19 日（木）

※ 訓練期間の前後に、訓練参加機及び人員・物資の輸送機の展開・撤収が行われる予定

2. 使用基地：航空自衛隊新田原基地

3. 使用空域：四国沖空域、九州西方空域及び沖縄周辺空域

4. 訓練内容：戦闘機戦闘訓練等

5. 参加部隊：（米 軍）第 18 航空団（嘉手納）
（自衛隊）第 5 航空団（新田原）

6. 参加規模：タイプⅡ

（米 軍）F-35A×10 機程度 人員 170 名程度

（自衛隊）F-15×8 機程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

(お知らせ)

令和8年2月27日
防 衛 省

米軍再編に係るグアム等への航空機訓練移転について

米軍再編に係るグアム等への航空機訓練移転（単独訓練）を、下記のとおり実施しますので、お知らせします。

今回で国外への訓練移転は、85回目及び86回目となります。

国外への訓練移転は、米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響軽減のために実施されるものです。

(1) 岩国飛行場からグアム等への訓練移転

- 訓練期間: 令和8年3月6日(金)～3月26日(木)
- 参加部隊: 第5空母航空団(岩国)
- 参加規模: FA-18×16機程度、EA-18×6機程度
人員230名程度

(2) 岩国飛行場からグアム等への訓練移転

- 訓練期間: 令和8年3月10日(火)～3月27日(金)
- 参加部隊: 第5空母航空団(岩国)
- 参加規模: FA-18×8機程度、EA-18×4機程度
F-35C×10機程度、E-2D×4機程度
人員830名程度

※訓練期間の前後に、訓練参加機及び人員・物資の輸送機の展開・撤収が行われる予定。

※本内容については、今後、変更される場合があります。

(お知らせ)

令和8年3月19日
防 衛 省

令和8年度における米軍再編に係る航空機訓練移転の計画について

令和8年度の米軍再編に係る航空機訓練移転については、10回程度の実施を目標に計画する予定です。

当該訓練移転は、日米の相互運用性の向上及び嘉手納飛行場をはじめとする米軍飛行場周辺の騒音軽減を目的として実施するものです。

なお、具体的な訓練の詳細については、日米間の調整が整い次第、お知らせします。

(参考)

移転元の米軍飛行場：嘉手納飛行場、岩国飛行場及び三沢飛行場

移転先の基地：(国内)千歳基地、三沢基地、百里基地、小松基地、築城基地
及び新田原基地

(国外)グアム等及び米国アラスカ州

令和 8 年 4 月 2 1 日

航空自衛隊千歳基地

令和 7 年度（下半期）航空機部品等落下について

令和 7 年 1 0 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日までの間、航空自衛隊千歳基地において発生した航空機の部品等落下について、下記のとおりお知らせします。

記

番号	発生日時	発生場所	機種	落下部品等		
				品名等	大きさ	重さ
1	令和7年 10月8日(水) 14:59～16:18頃	千歳飛行場～日本海 上空～千歳飛行場	F-15J	チタン・パ ッチ材	縦：約60mm 横：約80mm 高さ：約0.2mm	約4g
2	令和7年 12月11日(木) 11:00頃～ 令和8年 1月15日(木) 11:00頃	美保飛行場～那覇飛 行場～与那国空港～ 那覇飛行場～美保飛 行場 美保飛行場～隠岐空 港～美保飛行場 美保飛行場～名古屋 飛行場～千歳飛行場 ～入間飛行場～名古 屋飛行場～美保飛行 場 美保飛行場～築城飛 行場～美保飛行場 美保飛行場～日本海 上空～美保飛行場	C-2	スクリュー	直径：約9mm 高さ：約16mm	約1g
				ワッシャー	直径：約16mm 高さ：約3mm	1g未満

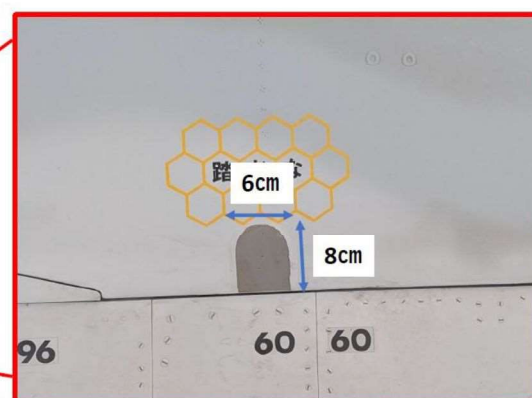
(お問い合わせ先)

担 当：航空自衛隊千歳基地第 2 航空団司令部監理部基地対策室

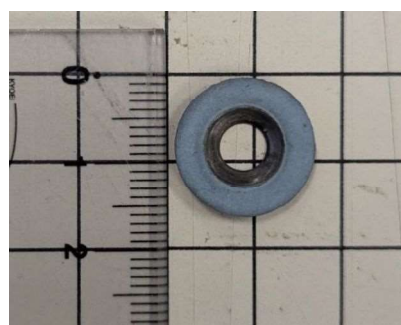
電 話：0 1 2 3 - 2 3 - 3 1 0 1 (内線：2 2 1 4)

別紙1

発生日時: R7.10.8(木)
機種: F-15J(千歳基地)
パッチ



発生日時:R7.12.11(木)～R8.1.15(木)
機種:C-2(美保基地)
スクリュー(左)、ワッシャー(右)



地方自治体各位 殿

令和 8 年 4 月 1 6 日
航空自衛隊千歳基地

航空機部品等落下について

航空自衛隊千歳基地所属の航空機部品等落下について、下記のとおりお知らせします。

記

1 発生日時

令和 8 年 4 月 1 6 日（木） 1 5 時 5 4 分～1 6 時 4 9 分の間

2 発生場所

千歳飛行場～太平洋上の訓練空域（推定）

3 所属及び機種

第 2 航空団第 2 0 3 飛行隊 F－1 5 J

4 落下部品等

（1）品名

右フラップアップ・ストップ（右翼フラップの一部）

（2）大きさ

ア 縦 約 4 0 m m

イ 横 約 5 0 m m

ウ 高さ 約 4 0 m m

エ 重さ 約 1 0 9 g

オ 材質 アルミニウム合金等

5 被害情報

被害に関する情報なし。

（お問い合わせ先）

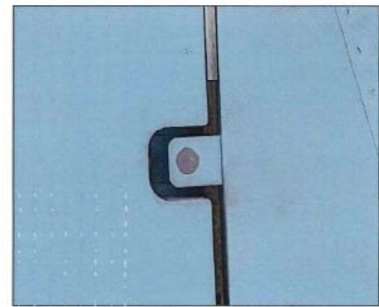
担 当：航空自衛隊千歳基地第 2 航空団監理部基地対策室

電 話：0 1 2 3－2 3－3 1 0 1（内線 2 2 1 4）

F-15 833号機右FLAPアップ・ストップ脱落について



当該機



正常品



脱落した構成品

材質: チタン及び
アルミ

縦: 4cm

横: 5cm

高さ: 4cm

重量: 約109g



機体側破断面

地方自治体各位 殿

令和 8 年 4 月 2 0 日
航空自衛隊千歳基地

航空機部品等落下について

航空自衛隊千歳基地所属の航空機部品等落下について、下記のとおりお知らせします。

記

1 発生日時

令和 8 年 4 月 2 0 日（月） 1 2 時 4 2 分～1 3 時 4 6 分の間

2 発生場所

千歳飛行場～太平洋上の訓練空域（推定）

3 所属及び機種

第 2 航空団第 2 0 1 飛行隊 F－1 5 J

4 落下部品等

（1）品名

シミュレーター・プラグ

（2）大きさ

ア 直径 約 5 4 mm

イ 高さ 約 3 8 mm

ウ 重さ 約 1 4 0 g

エ 材質 銅合金、ゴム及び絶縁体

5 被害情報

被害に関する情報なし。

（お問い合わせ先）

担 当：航空自衛隊千歳基地第 2 航空団監理部基地対策室

電 話：0 1 2 3－2 3－3 1 0 1（内線 2 2 1 4）

F-15 855号機右前シミュレーター・プラグ脱落について



当該機



正常品



脱落した構成品



ゴム

金属

絶縁体

材質：金属、ゴム及び
絶縁体
直径：約5.4cm
高さ：約3.8cm
重量：約140g

「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づく助成事業実施一覧

◎第3条（学校、病院、福祉施設等の防音工事助成）

（単位：千円）

年度	事業名	補助金
R6	植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金	4,779
	沼ノ端小学校校舎防音機能復旧工事 実施設計	2,310
	勇払小学校(講堂)防音機能復旧工事	32,232
R7	沼ノ端小学校校舎防音機能復旧工事	20,757
	植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金	4,629
R8 (予定)	実施予定なし	

◎第4条（一般住宅の防音工事）

（単位：世帯）

年度	住宅防音工事	機能復旧工事	
		空調機器	防音建具
R5	2	8	6
R6	2	26	3
R7	3	11	7

防音工事は従来、新規・追加の2段階に分けて実施されており、平成8年度に追加工事が工事実施区域の南端まで到達した事で一応の区切りとし、平成9年度からは、工事対象世帯であるが都合により実施していなかった世帯の工事を行っています。

空調機器機能復旧工事は、既に設置の暖房機・換気扇・レンジ扇が10年以上経過し故障している場合、取替工事を実施するものです。（再度も可）

◎第9条（特定防衛施設周辺整備調整交付金）

（単位：千円）

年度	事業名	交付金
R6	①植苗ファミリーセンター整備事業 (352・交付金320)	125,777
	②東開文化交流サロン運営事業（基金） (44,000・交付金44,000)	
	③ウトナイ小学校教育環境整備事業 (836・交付金800)	
	④勇払川西通改良舗装工事 (63,283・交付金36,907)	
	⑤沼ノ端スケートセンター備品整備事業※R7繰越 (16,643・交付金13,000)	
	⑥児童用机・椅子整備事業 (16,281・交付金10,000)	
	⑦学校給食用食缶整備事業 (14,270・交付金10,000)	
	⑧学校施設環境整備事業 (3,938・交付金3,500)	
	⑨災害用備蓄品購入 (8,712・交付金7,250)	
R7	①植苗1号公園整備事業 (7,106・交付金6,800)	123,440
	②東開文化交流サロン運営事業（基金） (43,000・交付金43,000)	
	③勇払川西通改良舗装工事 (67,397・交付金30,000)	
	④沼ノ端コミュニティセンター備品整備事業 (1,976・交付金1,900)	
	⑤中学校保健室冷房設備設置事業 (31,707・交付金30,000)	
	⑥緑ヶ丘公園サッカー場備品整備事業 (3,388・交付金3,000)	
	⑦災害用備蓄品購入 (8,775・交付金8,740)	
R8 (予定)	①除雪車両整備事業 (17,000・交付金16,000)	114,400
	②植苗ファミリーセンター防犯カメラ設置事業 (3,080・交付金2,000)	
	③東開文化交流サロン運営事業（基金） (43,000・交付金43,000)	
	④勇払川西通改良舗装工事 (70,000・交付金34,500)	
	⑤JFEリサイクルプラザ備品整備事業 (7,000・交付金6,000)	
	⑥沼ノ端中学校管理シャッター設置事業 (1,700・交付金1,400)	
	⑦公園遊具整備事業 (10,000・交付金7,000)	
	⑧小中学校普通教室カーテン更新事業 (6,000・交付金4,500)	

令和 7 年度 再編関連訓練移転等交付金事業（結果）

（単位：千円）

事業名		総事業費	交付金				
			当初額 R7年4月	①変更後 R7年11月	②確定額	②－① 増減	
植苗・美沢地区	植苗地区テレビ光ケーブル化事業（工事）	89,100	56,000	56,000	56,000	0	
						0	
						0	
	小計	89,100	56,000	56,000	56,000	0	45.0%
沼ノ端地区	勇の原公園整備事業	51,667	43,000	43,000	43,000	0	
	沼ノ端地区消火栓整備事業	12,540	8,000	8,000	8,000	0	
	小計	64,207	51,000	51,000	51,000	0	40.9%
勇払地区	勇払地区津波避難施設整備事業	7,260	16,000	6,730	6,730	0	
	勇払地区津波避難施設整備事業（備品整備）	2,341		1,700	1,700	0	
	勇払公民館浴室ろ過機改修事業	4,550		3,800	3,800	0	
						0	
	小計	14,151	16,000	12,230	12,230	0	9.8%
三地区含む共通							
	小計	0	0	0	0	0	0.0%
共通	保健センター等医療機器整備事業（最終調整弁）	5,639		5,336	5,336	0	
	小計	5,639	0	5,336	5,336	0	4.3%
合計		173,097	123,000	124,566	124,566	0	

再編関連訓練移転等交付金 124,566千円（確定）

令和7年 4月 1日（一次配当決定） 124,566千円

令和7年度下半期 新千歳空港における民航機の引き返し及び目的地外空港への着陸について

※天候不良を除く

	着陸日	種別	路線		航空会社便名	着陸理由		引き返し／ 目的地外着陸	理由詳細
			発	着		機材不具合	その他		
1	R7.12.9	国内	新千歳	羽田	JAL516	○		引き返し	バードストライクによる油圧トラブルのため
2	R7.12.25	国内	新千歳	仙台	ANA1230	○		引き返し	プロペラ関連システム不具合のため
3	R7.12.27	国内	新千歳	根室中標津	ANA4881	○		引き返し	電源関係エラーメッセージ表示のため
4	R8.1.8	国内	新千歳	神戸	SKY178		○	引き返し	神戸空港の運用時間超過のため
5	R8.1.8	国内	新千歳	成田	SJO408	○		引き返し	システム不具合のため
6	R8.1.10	国際	新千歳	シンガポール	SIA661	○		引き返し	与圧システム異常のため
7	R8.1.28	国際	新千歳	アンカレッジ	N974MT	○		引き返し	システムトラブルのため
8	R8.3.12	国内	新千歳	羽田	ADO12	○		引き返し	客室与圧システムトラブルのため
合計		国内	引き返し	6件（機材不具合5、その他1）		目的地外着陸		0件（機材不具合0、その他0）	
		国際	引き返し	2件（機材不具合2、その他0）		目的地外着陸		0件（機材不具合0、その他0）	

北海道エアポート株式会社調べ

令和7年度

航空機騒音測定結果について

苫小牧市航空機騒音常時監視測定地点



令和7年度 航空機騒音測定結果(時間帯別・レベル別)

		測定日数	騒音発生回数(日平均)				計	レベル別騒音発生回数(日平均値)								最高値 dB	年平均値 dB	Lden dB	環境基準 dB
			0～7時	7～19時	19～22時	22～0時		70dB未満	70dB～	75dB～	80dB～	85dB～	90dB～	95dB～	100dB～				
北海道測定局	植 苗 局	365日	71 0	48,783 134	8,401 23	568 2	57,823 158	12,775 35	32,606 89	12,125 33	297 1	18 0	2 0	0 0	0 0	94.3	73.5	57	62
	ウ ト ナ イ 局	365日	52 0	21,393 59	4,819 13	395 1	26,659 73	24,286 67	1,528 4	447 1	267 1	103 0	26 0	1 0	1 0	101.8	70.4	51	62
	美 沢 局	359日	12 0	35,799 98	7,146 20	395 1	43,352 119	42,275 116	700 2	321 1	51 0	1 0	4 0	0 0	0 0	92.7	63.7	47	62
	湖 畔 局	365日	478 1	72,515 199	13,658 37	1,383 4	88,034 241	36,026 99	40,657 111	11,007 30	313 1	26 0	3 0	1 0	1 0	100.5	72.2	58	62
	斎 藤 宅 局	365日	7 0	29,327 80	5,906 16	94 0	35,334 97	34,964 96	301 1	60 0	6 0	3 0	0 0	0 0	0 0	88.9	62.0	45	62
	植 苗 公 園 局	365日	82 0	45,005 123	8,207 22	619 2	53,913 148	46,588 128	6,248 17	677 2	306 1	79 0	11 0	3 0	1 0	100.1	68.8	52	62
	勇 払 局	365日	66 0	42,953 118	7,202 20	523 1	50,744 139	47,934 131	2,660 7	138 0	10 0	2 0	0 0	0 0	0 0	86.4	65.8	50	62
	沼ノ端東雲局	364日	459 1	61,749 169	12,152 33	1,238 3	75,598 207	70,062 192	4,980 14	303 1	196 1	51 0	5 0	1 0	0 0	95.2	67.3	54	62
	勇 払 東 局	365日	36 0	37,972 104	8,075 22	456 1	46,539 127	43,882 120	2,512 7	135 0	9 0	1 0	0 0	0 0	0 0	85.2	65.7	50	62
苫小牧市測定局	植 苗 会 館 局	365日	91 0	46,413 127	7,511 21	164 0	54,179 148	52,540 144	1,312 4	292 1	32 0	3 0	0 0	0 0	0 0	87.6	65.4	50	62
	丹 治 沼 局	365日	450 1	72,307 198	12,432 34	1,264 3	86,453 237	24,727 68	46,112 126	14,984 41	579 2	49 0	1 0	0 0	1 0	103.3	73.2	59	62
	琥 珀 荘 局	365日	197 1	53,490 147	9,090 25	364 1	63,141 173	60,458 166	2,053 6	572 2	54 0	4 0	0 0	0 0	0 0	87.5	65.9	51	62
	沼ノ端東局	365日	389 1	59,270 162	10,856 30	1,092 3	71,607 196	58,048 159	12,961 36	531 1	63 0	4 0	0 0	0 0	0 0	89.9	68.6	54	62
	沼ノ端局	365日	206 1	34,546 95	6,061 17	451 1	41,264 113	39,749 109	627 2	529 1	268 1	63 0	25 0	2 0	1 0	110.1	69.6	51	57
	糸 井 局	365日	1 0	824 2	29 0	0 0	854 2	667 2	143 0	36 0	7 0	1 0	0 0	0 0	0 0	89.0	70.0	37	—

航空機別の自粛時間飛行機数

1 民間航空機

機数 年度	4月 機数	5月 機数	6月 機数	7月 機数	8月 機数	9月 機数	10月 機数	11月 機数	12月 機数	1月 機数	2月 機数	3月 機数	合計 機数
令和3年	4	3	2	5	7	4	4	14	35	65	13	14	170
令和4年	4	17	20	17	41	23	19	18	62	43	91	31	386
令和5年	25	31	46	48	104	67	43	34	70	134	73	42	717
令和6年	11	14	34	63	118	63	35	47	89	56	125	74	729
令和7年	18	38	26	48	77	53	40	54	122	167	74	31	748

※22時～翌日7時までの飛行を集計。24時間運用に係る深夜早朝便を除く。

2 自衛隊機等

機数 年度	4月 回数 機数	5月 回数 機数	6月 回数 機数	7月 回数 機数	8月 回数 機数	9月 回数 機数	10月 回数 機数	11月 回数 機数	12月 回数 機数	1月 回数 機数	2月 回数 機数	3月 回数 機数	合計 回数 機数
令和3年	1 2	1 2	2 7	0 0	1 1	1 1	7 13	14 27	2 4	0 0	3 5	1 1	33 63
令和4年	0 0	0 0	3 5	16 23	1 1	4 4	0 0	6 9	1 1	1 1	4 4	1 2	37 50
令和5年	1 2	1 2	3 8	11 33	0 0	1 1	1 2	2 4	0 0	0 0	0 0	0 0	20 52
令和6年	1 1	0 0	3 4	1 2	0 0	1 2	3 4	0 0	1 1	2 2	1 1	1 2	14 19
令和7年	2 2	2 2	6 13	0 0	0 0	26 40	2 2	4 5	2 2	1 2	2 3	0 0	47 71

※22時～翌7時まで及び土日・祝日に騒音観測したものを集計（「回数」は騒音の観測回数）。

3 海上保安庁

機数 年度	4月 機数	5月 機数	6月 機数	7月 機数	8月 機数	9月 機数	10月 機数	11月 機数	12月 機数	1月 機数	2月 機数	3月 機数	合計 機数
令和3年	2	2	0	0	0	2	2	0	0	1	1	2	12
令和4年	2	3	1	9	0	4	1	0	2	1	1	3	27
令和5年	1	2	0	1	3	3	2	1	0	1	2	0	16
令和6年	2	0	1	6	0	2	2	0	0	0	0	2	15
令和7年	0	1	0	0	1	1	2	3	0	4	2	1	15

※22時～翌日7時まで及び土日・祝日に騒音観測したものを集計。

自肅時間飛行の多い便の遅延理由一覧(令和7年度)

(令和6年度又は令和7年度に10回以上遅延した便を抜粋)

会社・便別	令和 6年度		令和 7年度	増減数	遅延理由内訳	路線	夏ダイヤ (便数)	冬ダイヤ (便数)
全体	729	→	748	19	緊急事態:3 機材故障:75 天候:291 航空管制等:42 その他:337			
ANA 全体	376	→	248	-128	機材故障:33 天候:73 航空管制等:29 その他:113			
79便	74	→	80	6	機材故障:7 天候:23 航空管制等:17 その他:33	羽田→新千歳	21:35着 (41)	21:35着 (39)
82便	16	→	19	3	機材故障:3 天候:9 その他:7	新千歳→羽田	20:30離 (3)	20:30離 (16)
84便	112	→	87	-25	機材故障:14 天候:17 航空管制等:6 その他:50	新千歳→羽田	21:20離 (48)	21:25離 (39)
779便	13	→	6	-7	機材故障:1 天候:4 その他:1	伊丹→新千歳	-	20:45着 (6)
988便	129	→	30	-99	機材故障:5 天候:4 航空管制等:6 その他:15	新千歳→羽田	21:45離 (26)	21:45離 (4)
JAL 全体	194	→	214	20	緊急事態:2 機材故障:25 天候:95 航空管制等:4 その他:88			
526便	9	→	11	2	機材故障:1 天候:8 その他:2	新千歳→羽田	20:05離 (3)	20:10離 (8)
528便	64	→	62	-2	緊急事態:1 機材故障:9 天候:19 航空管制等:1 その他:32	新千歳→羽田	21:15離 (32)	21:05離 (30)
529便	38	→	48	10	機材故障:5 天候:15 航空管制等:1 その他:27	羽田→新千歳	21:25着 (21)	21:20着 (27)
530便	35	→	31	-4	機材故障:1 天候:11 航空管制等:1 その他:18	新千歳→羽田	21:30離 (13)	21:15離 (18)
2909便	11	→	10	-1	機材故障:2 天候:4 航空管制等:1 その他:3	仙台→新千歳	21:40着 (2)	21:35着 (8)
ADO 全体	105	→	167	62	機材故障:10 天候:61 航空管制等:6 その他:90			
35便	5	→	15	10	天候:9 その他:6	羽田→新千歳	20:20着 (5)	20:20着 (10)
37便	43	→	73	30	機材故障:2 天候:14 航空管制等:5 その他:52	羽田→新千歳	21:50着 (22)	21:50着 (51)
38便	36	→	49	13	機材故障:5 天候:22 その他:22	新千歳→羽田	21:00離 (15)	21:00離 (34)
SKY 全体	18	→	28	10	機材故障:1 天候:18 航空管制等:1 その他:8			
730便	9	→	13	4	天候:7 航空管制等:1 その他:5	新千歳→羽田	21:00離 (6)	21:00離 (7)
APJ 全体	14	→	36	22	緊急事態:1 機材故障:1 天候:16 航空管制等:1 その他:17			
118便	5	→	12	7	機材故障:1 天候:2 その他:9	新千歳→関西国際	20:10離 (9)	20:00離 (3)
その他	22	→	55	33	機材故障:5 天候:28 航空管制等:1 その他:21			
TVJ570便	0	→	12	12	その他:12	台北→新千歳	-	07:30着 (12)

95dB以上の騒音発生回数

経年変化

(回)

	95dB以上の発生回数	内 訳				
		外国貨物機	外国旅客機	国内旅客機	自衛隊機等	海上保安庁
R3年度	8	0	0	0	8	0
R4年度	13	0	0	0	13	0
R5年度	9	0	0	0	9	0
R6年度	20	0	0	0	20	0
R7年度	13	0	0	0	13	0

※自衛隊機等には米軍機を含む。

令和7年度 詳細記録

測定局	月日	時刻	dB	離着	所属	機種	目的・始発地
ウトナイ局							
2	8月5日(火)	10:51:40	101.8	周回	自衛隊	F-15×1	航空祭訓練
	1月14日(水)	16:19:22	95.5	着	自衛隊	F-15×2	太平洋側 通常訓練
湖畔局							
2	8月21日(木)	13:36:23	95.0	周回	自衛隊	F-15×2	航空祭訓練
	8月25日(月)	10:49:34	100.5	周回	自衛隊	F-15×2	航空祭訓練
植苗公園局							
4	8月21日(木)	10:49:12	98.7	周回	自衛隊	F-15×2	航空祭訓練
	8月21日(木)	13:36:29	100.1	周回	自衛隊	F-15×2	航空祭訓練
	8月25日(月)	10:49:36	95.8	周回	自衛隊	F-15×2	航空祭訓練
	3月12日(木)	9:15:06	96.2	着	自衛隊	F-15×1	太平洋側 通常訓練
沼ノ端東雲局							
1	8月5日(火)	10:51:37	95.2	周回	自衛隊	F-15×1	航空祭訓練
丹治沼局							
1	9月7日(日)	13:38:52	103.3	通過	自衛隊	F-15×2	航空祭
沼ノ端局							
3	9月4日(木)	7:58:40	110.1	通過	自衛隊	F-35×2	航空祭訓練
	1月27日(火)	18:26:04	95.1	着	自衛隊	F-15×2	太平洋側 通常訓練
	2月11日(水)	11:46:50	95.8	着	自衛隊	F-15×2	任務飛行

航空機騒音苦情

(1) 苦情件数の推移(カッコ内は件数)

年度	自衛隊機等によるもの	民間航空機によるもの	合計
R3	1件	0件	1件
内訳	航路・騒音(1)	-	
R4	4件	2件	6件
内訳	騒音(3)、航路・騒音(1)	騒音(1)、航路・騒音(1)	
R5	4件	0件	4件
内訳	航路(2)、騒音(2)	-	
R6	8件	3件	11件
内訳	騒音(5)、航路・騒音(3)	騒音(1)、航路(1) 航路・騒音(1)	
R7	6件	2件	8件
内訳	騒音(5)、航路・騒音(1)	騒音(1)、航路・騒音(1)	

(2) 苦情発生地区(カッコ内は件数)

年度	自衛隊機等によるもの	民間航空機によるもの
R3	拓勇東町(1)	-
R4	ウトナイ北(1)、ウトナイ(2)、栄町(1)	拓勇東町(1)、花園町(1)
R5	日新町(1)、東開町(1)、ときわ町(1)、のぞみ町(1)	-
R6	豊川町(1)、拓勇東町(1)、大成町(1)、日新町(1)、澄川町(2)、北栄町(1)、東開町(1)	明野新町(1)、日新町(1)、山手町(1)
R7	豊川町(1)、三光町(1)、有珠の沢(1)、澄川町(1)、明德町(2)	明野新町(1)、三光町(1)

(3) 苦情発生月別内訳

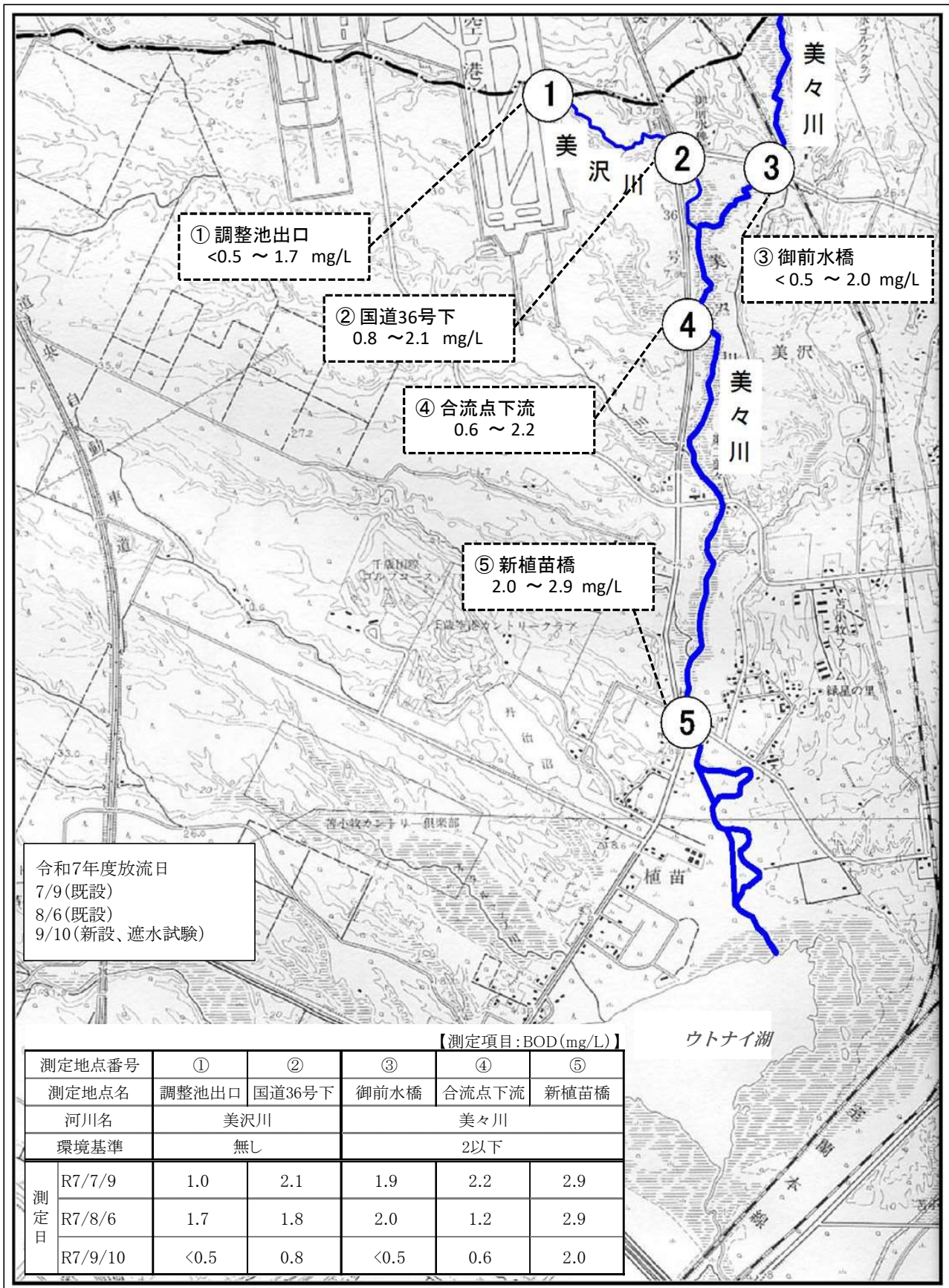
(件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
R4	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	6
R5	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	4
R6	-	-	-	6	1	2	1	-	-	1	-	-	11
R7	2	1	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	8

令和7年度

空港融雪剤に係る水質測定結果について

令和7年度 放流期間中の水質測定結果(美沢川・美々川)



空港における防除雪氷剤・融雪剤の年間使用量の推移(5年間)

	防除雪氷剤			融雪剤
	タイプⅠ (kl)	タイプⅣ (kl)	合計 (kl)	蟻酸系 (kg)
令和3年度	730	570	1,300	423,170
令和4年度	642	490	1,132	279,000
令和5年度	771	793	1,564	555,530
令和6年度	743	857	1,600	444,240
令和7年度	954	882	1,836	483,560

※防除雪氷剤：雪氷の除去や付着防止のため、航空機の機体に塗布するもの

タイプⅠ：プロピレングリコール80%、水20%

タイプⅣ：プロピレングリコール50%、水35%、増粘剤・防錆剤等15%

※融雪剤：滑走路、誘導路、駐機場の凍結防止のために散布するもの

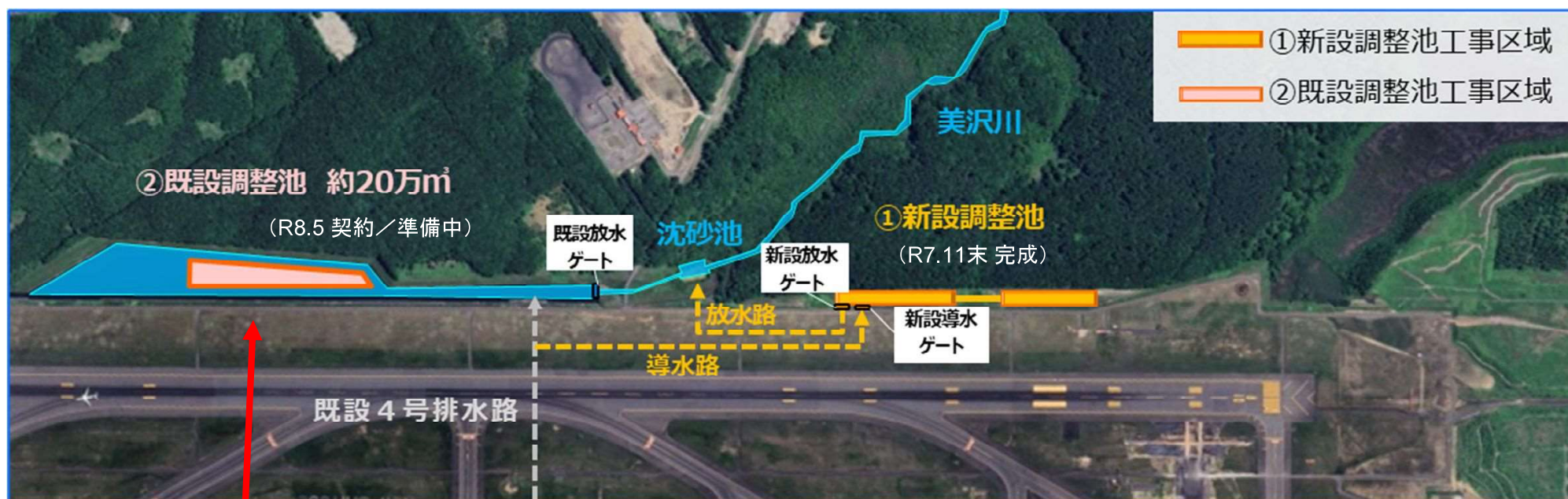
新千歳空港調整池に係る 工事の進捗状況について

国土交通省 東京航空局
令和 8年 5月29日

新千歳空港 調整池の整備について

【概要】

新千歳空港の雨水排水を処理するため、空港内調整池の貯水能力向上（容量増加）を図ることを目的として、
①新たな調整池の設置工事及び②**既設の調整池の拡張（掘増等）工事**を実施するもの



既設調整池（現状）

貯水前



貯水状況（現状）



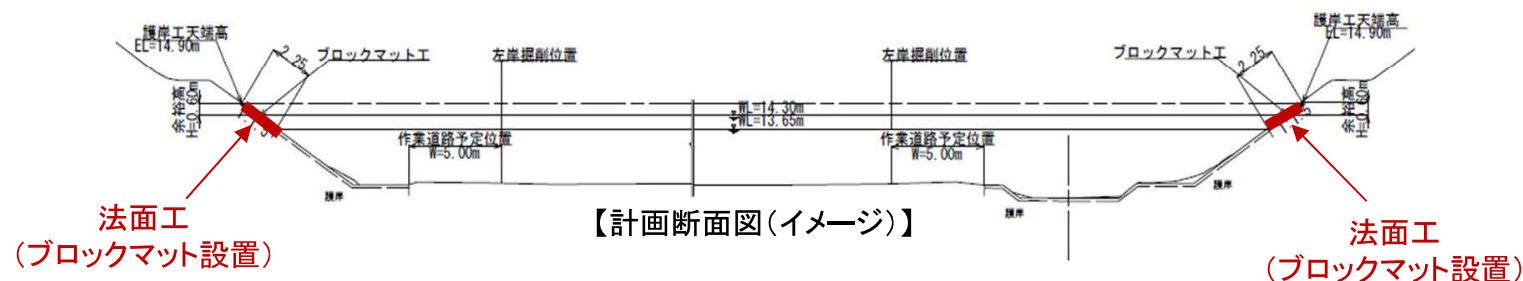
【整備計画】

整備計画	R7d	R8d予定	備考
②既設調整池	工法検討	調整池改良 (法面工)	※掘増工法検討中

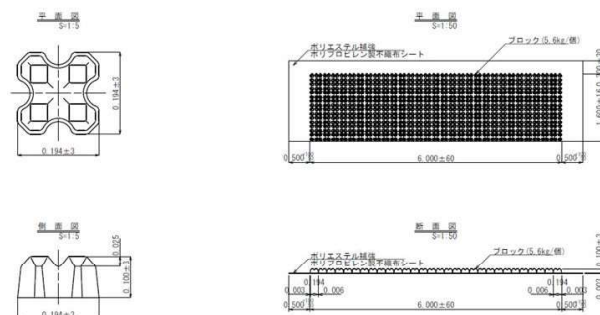
【調整池改良】

➤ 令和8年度に法面工事に着手

⇒ 調整池内の法面補強対策として、ブロックマットを設置 (工期末は令和8月11月30日を予定)



※ブロックマット形状



(参考) 設置イメージ



調整池等水門管理マニュアル

北海道エアポート(株)
新千歳空港事業所空港運用部

資料 1 1

1. 総則

- 1-1. 総則
- 1-2. 適用の範囲
- 1-3. 基本方針
- 1-4. 関係者
- 1-5. 用語の定義

2. 水門管理

- 2-1. 調整池等の位置図
- 2-2. 水門ゲート諸元
- 2-3. 装置名称
- 2-4. 操作キー管理
- 2-5. 水門ゲート点検
- 2-6. 水門ゲート操作
- 2-7. ゲート閉門時の異物除去作業
- 2-8. ゲート閉門時の漏水確認作業
- 2-9. ITVカメラの運用

3. 水質管理

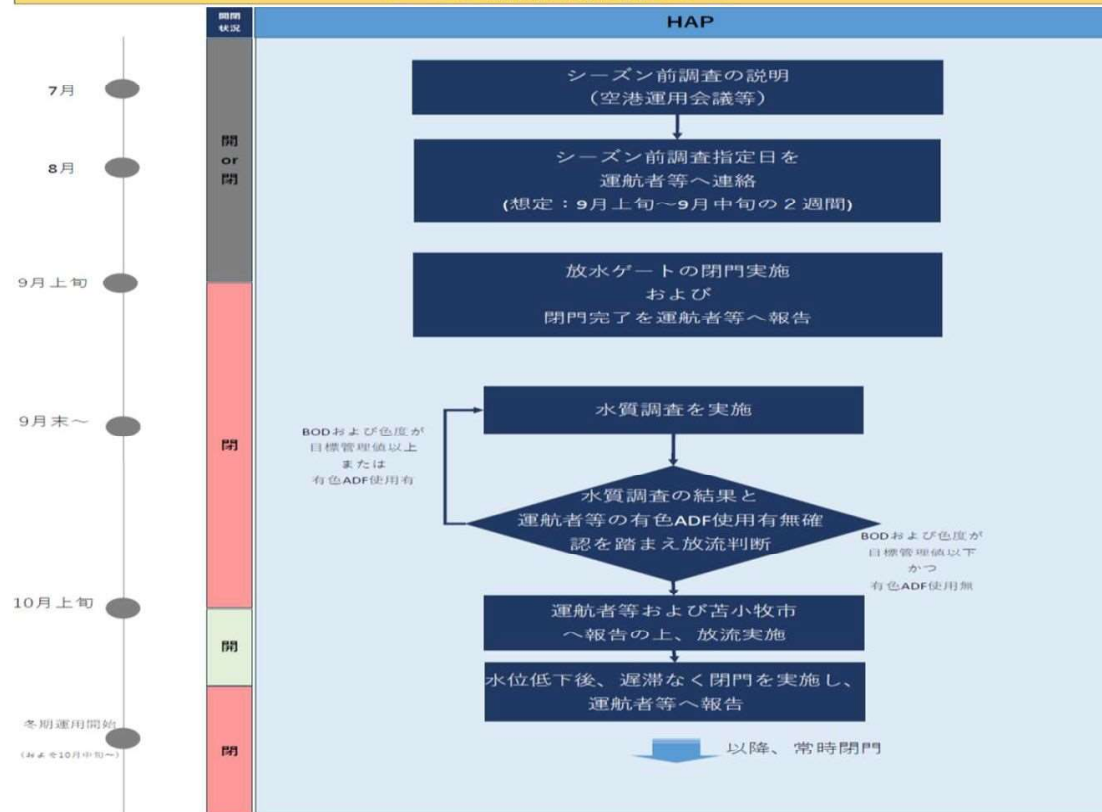
- 3-1. 水質調査
- 3-2. 空港排水の目標管理値等の設定
- 3-3. 事前通知
- 3-4. 貯雪ピットからの受入と放流の流れ
- 3-5. 運航者等のシーズン前調査等に伴う受入の流れ
- 3-6. 開閉時期
- 3-7. 開度設定

2025年10月2日1号調整池排水流出事案を受け、マニュアルへ追記

シーズン前調査に関する運航者等との情報共有不足により、閉門前に防除雪氷剤が流出した事案。再発防止対策として、シーズン前調査の実施時期、放水ゲートの閉門タイミングおよび情報連携フローの明確化を図ることとした。
(令和7年11月27日苫小牧市航空騒音対策協議会報告事案)

- ① シーズン前調査の説明(空港運用会議等)
- ② シーズン前調査指定日を運航者等へ連絡
- ③ 放水ゲートの閉門実施及び閉門完了を運航者等へ報告

シーズン前調査等に伴うフロー



4. 緊急対策

- 4-1. 概要
- 4-2. 緊急点検
- 4-3. 緊急点検評価
- 4-4. 緊急対策
- 4-5. 緊急連絡体制

5. 工事等調整

6. 統計分析

<別紙>

- 1. 水門ゲート点検
チェックリスト
- 2. 定期点検記録簿
- 3. 水門キー持ち出し簿



委託業者による
水質調査状況

令和8年度 苫小牧市航空機騒音対策協議会 要望活動(案)

1 要望時期

令和8年9月頃

2 要望先

■国会議員（議員会館：千代田区永田町）

衆議院議員 松下 英樹

参議院議員 橋本 聖子

衆議院議員 山岡 達丸

■国土交通省

国土交通大臣

国土交通副大臣

国土交通大臣政務官

航空局（千代田区霞が関 2-1-3）

局 長

航空ネットワーク部長

大臣官房参事官（航空戦略）

東京航空局（千代田区九段南 1-1-15）

局 長

次 長

総務部長

空港部長

保安部長

安全管理官・安全統括室長

空港部次長・東京国際空港機能強化推進室長

総務部総務課長

総務部地域航空事業課長

空港部管理課長

空港部地域振興・環境調整官

空港部空港企画調整課長

空港部土木課長

空港部建築課長

保安部技術保安企画調整課長

保安部管制課長

保安部管制技術課長

新千歳空港事務所(千歳市美々)

空 港 長

■北海道エアポート株式会社

代表取締役 社長

新千歳空港事業所 事業所長

■防衛省

防衛大臣

防衛副大臣

防衛大臣政務官

防衛政策局（新宿区市谷本村町 5-1）

局 長

防衛政策課長

日米防衛協力課長

運用政策課長

運用調整参事官

地方協力局(新宿区市谷本村町 5-1)

局 長

次 長

総務課長

地域社会協力総括課長

地方協力課長

航空幕僚監部(新宿区市谷本村町 5-1)

航空幕僚長

総務部長

航空自衛隊第2航空団(千歳市平和)

千歳基地司令

北海道防衛局(札幌市中央区大通西 12)

局 長

次 長

企画部地方調整課長

企画部防音対策課長

企画部地方調整課基地対策室長

企画部地方調整課環境対策室長

企画部地方調整課地方協力確保室長

管理部業務課長

3 要望書

別紙のとおり

要 望 書 (案)

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」について、別記理由により特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年9月 日

苫小牧市長 金 澤 俊

苫小牧市航空機騒音対策協議会
会 長 松 重 茂 雄

理 由 書（案）

国土交通省

新千歳空港につきましては、北海道のリーディングゲートウェイとして発展を続けており、昨年度の旅客数は2,601万人となり、2年連続で過去最多を更新しております。

一方、航空機の離着陸機数の増加等により、空港周辺の住民は、生活環境への影響や航空機事故に対する不安を抱えながら生活している状況です。

国におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところですが、さらに下記事項について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること

また、離陸時の飛行として住宅街を避けるコースを設定すること

- 2 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること

特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行うこと

- 3 低騒音機種への切替えを促進すること及び外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと

- 4 航空機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、航空機事故の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

- 5 北海道エアポート（株）の安定的な運営を支援し、新千歳空港における安全対策等の維持・強化を図ること

- 6 美沢川及び美々川等への環境対策に万全を期すること

要 望 書（案）

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」について、別記理由により特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年9月 日

苫小牧市長 金 澤 俊

苫小牧市航空機騒音対策協議会
会 長 松 重 茂 雄

理 由 書（案）

新千歳空港につきましては、北海道のリーディングゲートウェイとして発展を続けており、昨年度の旅客数は2,601万人となり、2年連続で過去最多を更新しております。

一方、航空機の離着陸機数の増加等により、空港周辺の住民は、生活環境への影響や航空機事故に対する不安を抱えながら生活している状況です。

貴社におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところではありますが、さらに下記事項について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること

また、離陸時の飛行として住宅街を避けるコースを設定すること

- 2 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること

特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行うこと

- 3 低騒音機種への切替えを促進すること及び外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと

- 4 航空機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、航空機事故の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

- 5 美沢川及び美々川等への環境対策に万全を期すること

要 望 書 (案)

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」／
「防音対策事業」／「再編関連訓練移転等交
付金」について、別記理由により特段の御高
配を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年9月 日

苫小牧市長 金 澤 俊

苫小牧市航空機騒音対策協議会
会 長 松 重 茂 雄

理 由 書（案）

千歳飛行場につきましては、航空自衛隊による通常訓練や政府専用機の訓練に加え、米軍再編に伴う訓練移転や他国との共同訓練などにより航空機騒音が増え、また、自衛隊機による部品落下事故も繰り返し発生しております。

千歳飛行場は、航空自衛隊の基幹飛行場として重要性が高まっておりますが、飛行場周辺住民は、航空機騒音に悩まされるとともに、戦闘機事故に対する不安を抱えながら生活している状況にあります。

国におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところですが、さらに下記事項について貴職の特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 市街地上空での低空飛行を避けること
- 2 通常訓練の離着陸コースを遵守すること
- 3 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること
- 4 訓練・演習における土日祝日の飛行を避けること
- 5 自衛隊機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、自衛隊機事故等の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

理 由 書（案）

千歳飛行場周辺整備事業につきましては、日頃から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

厳しい財政事情の中にあって、逐年飛行場周辺地域の環境整備がなされており、感謝に堪えない次第でございます。

しかしながら、千歳飛行場の南方周辺は航空機の頻繁な離着陸による騒音障害と、米軍再編に伴う訓練移転の開始により、騒音がさらに増え、周辺住民の生活安定及び福祉の向上のための諸対策が強く望まれております。

つきましては、下記事項について、貴職の特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 住宅防音助成については、対象区域を70Wまで拡大するとともに、全室を対象とし、告示後の新築住宅についても対象とすること

理 由 書（案）

在日米軍再編に係る千歳基地への訓練移転につきましては、平成１９年に防衛省と千歳市、苫小牧市の間で協定が締結され、防衛施設が安定的に使用できるよう協力をしてきたところでございます。

しかしながら、在日米軍再編に伴う訓練移転による戦闘機の騒音など、基地周辺の住民生活に少なからず影響を与えているのが実態であります。

つきましては、訓練移転が安全・安心して行われるよう十分な対策を講じるとともに、住民の福祉と生活環境の改善のため、下記事項について、貴職の特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 令和９年度以降も訓練移転が継続される場合、再編関連訓練移転等交付金の交付期間も継続すること